

2021

ノウフク
アワード

NOUFUKU AWARD
2021

グランプリ

GRAND PRIX

さんさん山城

京都府京田辺市

ろう者らが「京の伝統野菜」を守り、地域活性化に貢献しています。



概要

2011年4月、聴覚障害者が集い、働くことを通して社会の一員として活躍できる事業所「さんさん山城」を開所しました。高齢で担い手のいなかった宇治茶の茶園を継承し、抹茶の元である碾茶（てんちゃ）栽培を始めました。32人の障害者らが宇治茶、京都えびいも、万願寺とうがらし、花菜、京都田辺なすなど地域特産にこだわった農業に取り組み、加工食品製造やコミュニティカフェの運営も行っています。

地元神社の「ずいき神輿」で屋根に使用されるずいきを毎年奉納しているほか、企業・大学・飲食店などと連携して児童養護施設の入所児童を招いた「さんさん食育プロジェクト」など、農福連携を通してローカル SDGs を実践しています。

成果

<農林水産業>

- ・長年の農業経営が評価され、認定農業者となって地域農業を支えています。
- ・荒廃農地を活用した農業によって地域課題の解決に寄与しています。
- ・伝統野菜の維持・継承において、重要な担い手となっています。

<障害者等>

- ・6次産業化を実現することで、全国平均を大きく上回る工賃実績を達成しています。
- ・引きこもり、高齢者、パラスポーツ選手など、あらゆる人たちの活躍できる場を創出しています。

<地域>

- ・ノウフク JAS をブランド化し、商品価値を高め、地域からノウフク JAS の発信を行っています。
- ・多種多世代の人たちが集まるコミュニティカフェは、地域になくてはならない場所となっています。